



元氣とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 平成23年10月31日 第535号「週刊五十嵐レポート」

福岡レポート

ランチェスター戦略を研究して9年のT社長の会社は、業績が順調に推移しており、今では無借金経営をされています。さらなるレベルアップのため、福岡在住の(株)ランチェスター経営代表の竹田陽一氏をはじめ、福岡で業績良好の企業視察にきました。町コン経営塾にT社長を迎えて、福岡の話をしてもらいました。

・経営は長期戦。長期になるほどルール(原則)通りになり、例外はなくなる。短期的には例外もあるが、長続きはしない。

・「しない経営」。もともとできないだらけの状況から生まれた。しない経営とは、資金繰りをしない、借金をしない、固定資産を持たない、手形を発行しない、リースは使わない、など。資金に余裕ができれば、リスクをとることができる(=投資ができる)。リスクを自ら取りにいけば、その危険度は1/10になる。計画的に損ができることが投資であり、積極的な財務戦略になる。貧乏している時は知恵が出る。

・お客様以上に仕入先や配送業者を大切に。そうしないとお客様を大切に出来ない。社長の役割は、会社の方針と将来を熱く語る。社員は自ら来たい人だけ雇う。能力よりもヤル気。そのほうが伸びる。

・どん底の下請けから脱却するために「やらないことを先に決めた」。下請けをやめた。神田さんの実践会に入り、ニュースレターを学んだ。出したニュースレターは100回以上。福岡でNO.1。ニュースレター、はがきも実践を重ねると要領がよくなった。>

苦難は幸福の門。苦しいときこそ、成功の扉があります。「しない経営」ややらないことを先に決めるのは、過去に痛い経験があるからこそ。得るは捨つるにあり。福岡にはランチェスター弱者の戦略を実践している中小企業は多い。東京はこれから。T社長、ありがとうございました。

ちょっと
気になる出来事

1冊の本が届きました。江東区にある創業80周年の企業、細田木材工業株式会社の代表取締役会長細田安治氏著「木と共に生きて」です。

細田会長(78歳)は2代目で、3年近く前に東京商工会議所江東支部の異業種交流会に講師で呼ばれたからのご縁です。

毎回の五十嵐レポートにメールにて批評を書いていただいています。常に読者として細田会長を意識しています。

本が届いて、一気に読みました。細田会長は、愚直の人です。仕事に対して真面目にやってこられました。木場から新木場へ。さらに製材から乾燥、加工、ツキ板、化粧合板、塗装、工事へと時代、環境の変化を先取りして事業を変えていきました。変わらないのは「木」。

時代と共に材木業者が少なくなっています。ある材木業の社長は言います。「この業界のヤツは勉強しないからな」

愚直、研究熱心。80年にはわけがあります。(今でも海外視察にいけるほどです)



一口メモ

成功の秘訣

あいさつは仕事によりリズムをつくる

「おはようございます」は、1日のスタート。

「行ってきます」は「さあ、いい仕事をしてくるぞ!」という決意、仕事への熱意が感じられます。

自信に満ちた「ただいま帰りました!」と言うあいさつは、上司はもちろん、職場の同僚たちにとっても、とても好ましく感じられます。

そして、仕事の区切り区切りで使うあいさつには、仕事によりリズムを生み出す効果もあります。

「さあ、次はこれにとりかかろう」「一つ終わったぞ」と前へ前へと、自分の力で仕事を進めていく感覚を手に入れられるのです。

そういうあいさつは、声に出すほうも、聞いているほうも気分がよくなり、ヤル気の輪が広がっていきます。

挨拶教育研究会「あいさつの教科書」(中経出版)より

週刊五十嵐レポート 毎週月曜日発行

町コン経営塾「会社成功塾」 毎週日曜日、月曜日 午前10時~12時。

町コン・ランチェスタービジネスセミナー 毎月東京・大阪開催

(株)五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5

03-3659-7703 Fax 03-3659-7077 tigaras@attglobal.net

